

和木町公共施設等総合管理計画

平成 28 年 3 月

(平成 30 年 5 月改訂)

山口県 和木町

はじめに

わが国においては、高度経済成長期からの急激な人口増加と社会変化により、公共施設の整備が進められてきました。その当時に建設された公共施設は30年以上経過し建物の耐用年数を超過しており、大規模改修や修繕、建て替えが必要となってきています。他方で、近年のわが国の経済状況は低迷しており、国の財政は危機的状況となっています。それに加え、少子高齢化に伴う社会保障費の増加、生産年齢人口の減少に伴う税収の減少等将来の財政状況は厳しい状況です。

地方公共団体においても、少子・高齢社会の進展、高度情報化時代の到来など社会経済情勢が急速に変化をしていく中で、高度化・多様化する住民の方のニーズに対応し、住民の皆様が満足していただける行政サービスを提供していくことが求められており、そのために、財政基盤の充実が喫緊の課題となっています。

本町においても、この課題を解決するために、効率的な財政運営に向けて行財政改革に取り組んでまいりましたが、本町の財政状況も楽観視できるものではありません。また、今後も税収の大幅な回復は望めないものと考えています。このような状況の下、従来どおりの行政運営を継続した場合、町の貯蓄である基金が大幅に減少していく可能性も見込んでおかなければなりません。

そこで、このたび本町では、戦略的に行財政改革を推進し、行政のスリム化を図り、限られた資源を有効に活用し、安定した健全財政と質の高い行政サービスを実現していくための取り組みの一つとして公共施設の見直しと適正配置を検討していくことといたしました。

全国的な傾向と同様、本町の公共施設も、老朽化した施設が数多く存在しています。これらを維持管理していくためにかかる毎年の経費や、老朽化に伴い必要となる建て替えや改修の経費は、今後の町の財政にとって、かなり大きな負担となることが予想されています。また、少子高齢化の進行といった社会環境の変化も視野に入れつつ、施設の統廃合や機能転換なども含め、公共施設の適正配置と有効活用について、早急に検討を進めることが求められています。

本計画書は、本町の現状分析を基に、これからの施設のあり方を検討する上での素材となるように取りまとめたものです。今後は、住民の皆様や議会の皆様のご意見をいただきながら、本町の施設の将来あるべき姿について、共に考えていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

平成28年3月

和木町長 **米本 正明**

目 次

第1章 まちの概要

1	位置・面積	1
2	沿革	2
3	産業	2
4	人口動向	4
5	財政状況	7
6	職員数の推移	10

第2章 公共施設等の現状と将来見通し

1	対象施設	11
2	施設の現状	13
3	将来の更新費用の見通し	28

第3章 公共施設等総合管理計画の目的等

1	公共施設等総合管理計画の目的	37
2	公共施設等総合管理計画の位置付け	38
3	公共施設等総合管理計画の計画期間	39

第4章 公共施設等の管理に関する基本方針

1	公共施設における現状と課題	40
2	公共施設等の維持管理方針	43
3	全体目標	55
4	推進体制	57
5	住民との情報共有、合意形成	60

第5章 施設類型ごとの基本方針

I. 建物系公共施設

1. 学校教育系施設	61
2. 町民文化系施設	67
3. 社会教育系施設	78
4. スポーツ・レクリエーション系施設	84
5. 子育て支援施設	89
6. 保健・福祉施設	95
7. 行政系施設	101
8. 公営住宅	108
9. 公園	117
10. 供給処理施設	123
11. その他	126

II. 土木系公共施設

1. 道路（道路・橋梁）	131
--------------	-----

III. 企業会計施設

1. 上水道施設	133
2. 下水道施設	140

第6章 参考：年度別更新費用予測

I. 建物系公共施設

1. 学校教育系施設	147
2. 町民文化系施設	149
3. 社会教育系施設	152
4. スポーツ・レクリエーション系施設	154
5. 子育て支援施設	155
6. 保健・福祉施設	158
7. 行政系施設	159
8. 公営住宅	161
9. 公園	171
10. 供給処理施設	174
11. その他	176

第7章 一部事務組合施設の方針

1 一部事務組合	178
2 一部事務組合施設	178